



## 【議事】

# 「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」について

## (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り

---

# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## 1 諮問

柏市立学校におけるより良い教育環境と教育の質の向上を目指し、

**「柏市未来につなぐ魅力ある学校づくり基本方針」の策定について諮問**します。

### 【基本方針を策定する理由】

- ▼ 学校現場を取り巻く**多種多様な課題の解消及び緩和**に向けて、市立小学校、中学校、高等学校の将来におけるあり方について、「**誰一人取り残さずに多様な個人のウェルビーイング<sup>(※)</sup>を実現する学校づくり**」を進める必要があります。
- ▼ そのため、基本方針では、地域及び学校ごとに、児童生徒数の推計、学校施設の整備状況、通学距離等の現状を整理し「見える化」しつつ、様々な教育課題の解消に資する対応の方向性を盛り込むことで、**将来にわたり学校を管理及び運営する上での羅針盤**とします。

※ウェルビーイング：身体的、精神的、社会的に幸福で良好な状態にあること

# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## 2 スケジュール

※ 令和6年度末までに全9回の開催を予定

### 第2回審議会

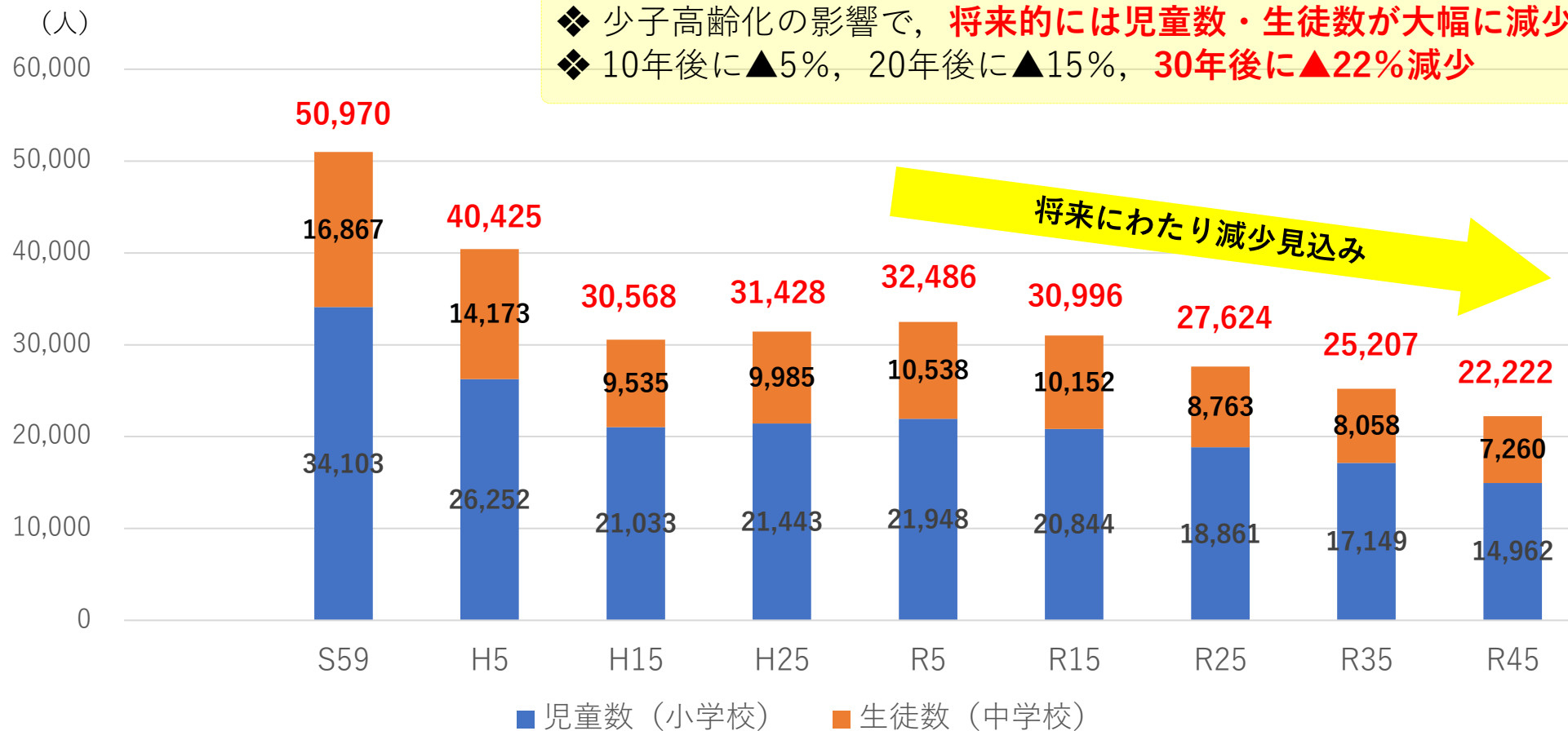
回	時期	協議事項	
第1回	令和5年 11月22日	現状把握 ・ 課題の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 諮問（基本方針の策定について）</li> <li>● 学校を取り巻く現状の概要・課題の全体感を共有                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数及び学校規模の推移見込み</li> <li>・各種教育上の課題（不登校，教員不足，特別支援等）</li> </ul> </li> <li>● 策定までの審議会スケジュール</li> </ul>
第2回	令和6年1月23日		<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 第1回審議会に続き、「現状」「課題」を整理</li> <li>● 学校施設の老朽化等状況，将来にわたる維持管理コスト</li> <li>● 各種教育上の課題</li> </ul>
第3回	令和6年3月下旬	対応の方向性	● 各課題ごとの対応の方向性について審議
第4回	令和6年5月中旬	対応の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基準案について審議</li> <li>● 地域ごとの学校配置シミュレーション案・対応の優先順位について審議</li> <li>● （引き続き）教育課題に対する対応の方向性について審議</li> </ul>
第5回	令和6年7月中旬	対応の方向性	（引き続き） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基準案の設定</li> <li>● 地域ごとの学校配置シミュレーション案・対応の優先順位について審議</li> <li>● （引き続き）教育課題に対する対応の方向性について審議</li> </ul> または、「先進校視察」としてマイクロバスで近隣市（市川市，八千代市，つくば市など）の一貫校の視察を検討
第6回	令和6年9月下旬	基本方針	基本方針《第1案》について審議，他計画との整合協議
第7回	令和6年11月中旬	基本方針	基本方針《第2案》について審議，他計画との整合協議
第8回	令和6年12月下旬	基本方針	基本方針案 確定
第9回	令和7年2月中旬	基本方針	（パブリックコメント反映）⇒ 答申 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">                         パブリックコメント実施                          (R6.12/下旬～R7.1/下旬)                     </div>

# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## 3 市立学校を取り巻く現状及び課題

### ア 児童生徒数の推移



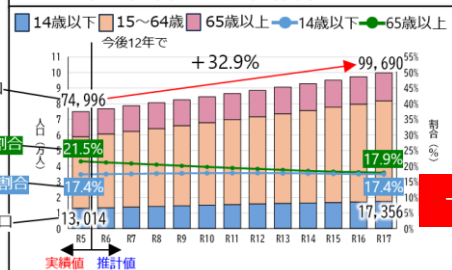
# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## ア 児童生徒数の推移

### 北部1 (西原、田中)

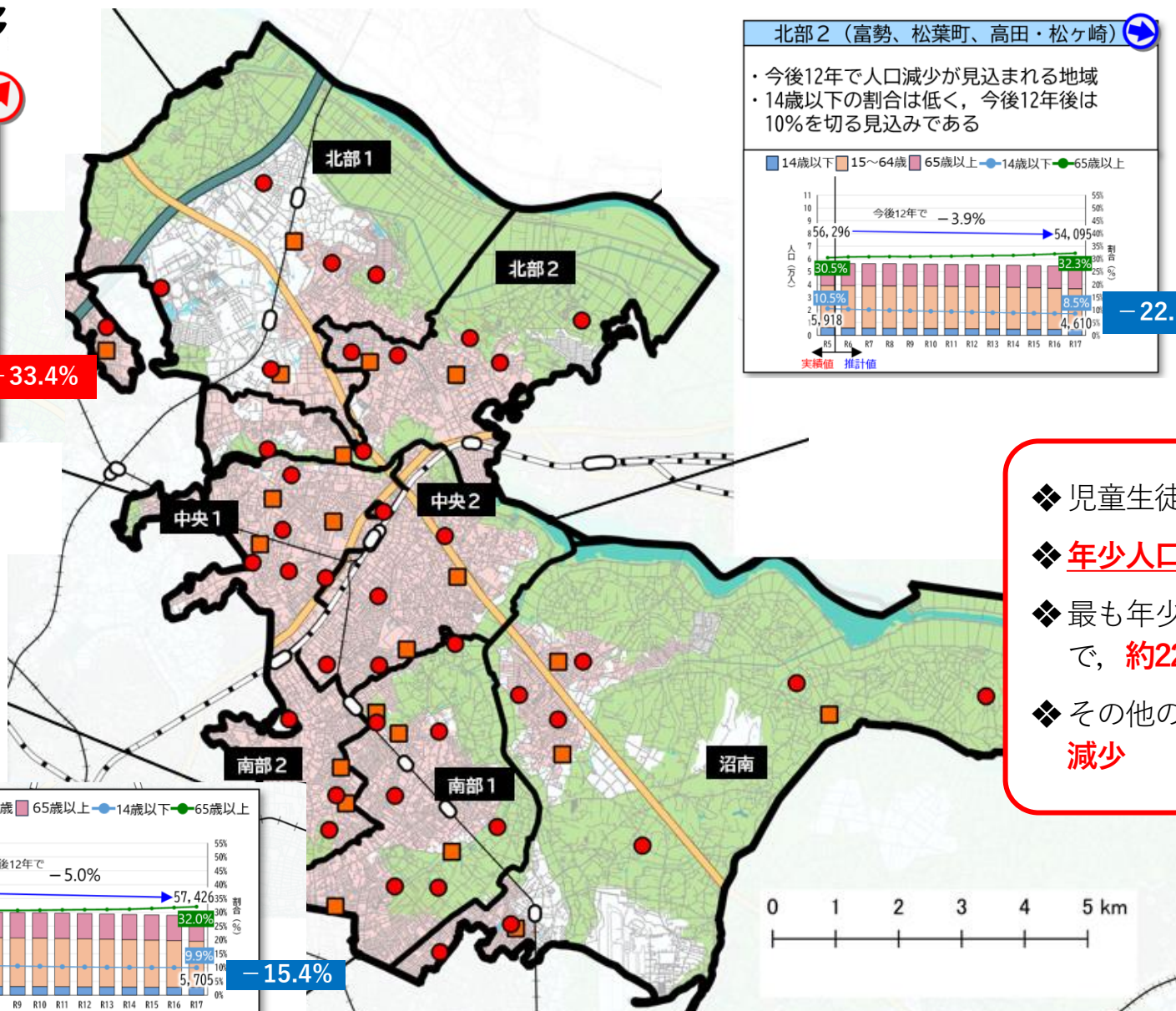
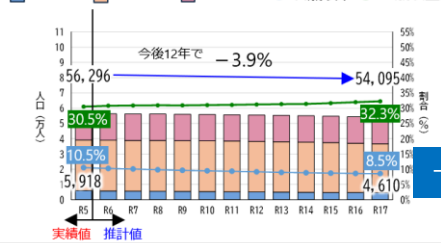
- ・今後12年で最も多く人口が見込まれる地域で、年少人口も増加
- ・65歳以上の割合が減少する一方で、14歳以下の割合は、現状維持される



### 北部2 (富勢、松葉町、高田・松ヶ崎)

- ・今後12年で人口減少が見込まれる地域
- ・14歳以下の割合は低く、今後12年後は10%を切る見込みである

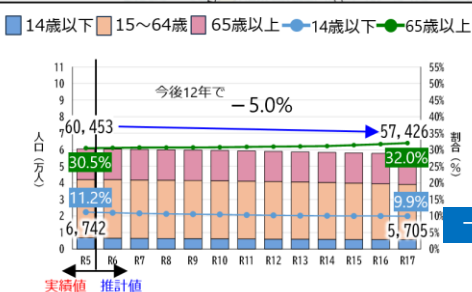
14歳以下 15~64歳 65歳以上 14歳以下 65歳以上



- ❖ 児童生徒数は地域ごとに差が生じる見込み
- ❖ 年少人口が増加するのは「北部1」のみ
- ❖ 最も年少人口が減少するのは「北部2」で、約22.1%減少
- ❖ その他の減少エリアもおおむね15%程度減少

### 南部1 (増尾、南部、藤心)

- ・今後12年で人口減少が見込まれる地域
- ・14歳以下の割合は低く、今後12年後は10%を切る見込みである



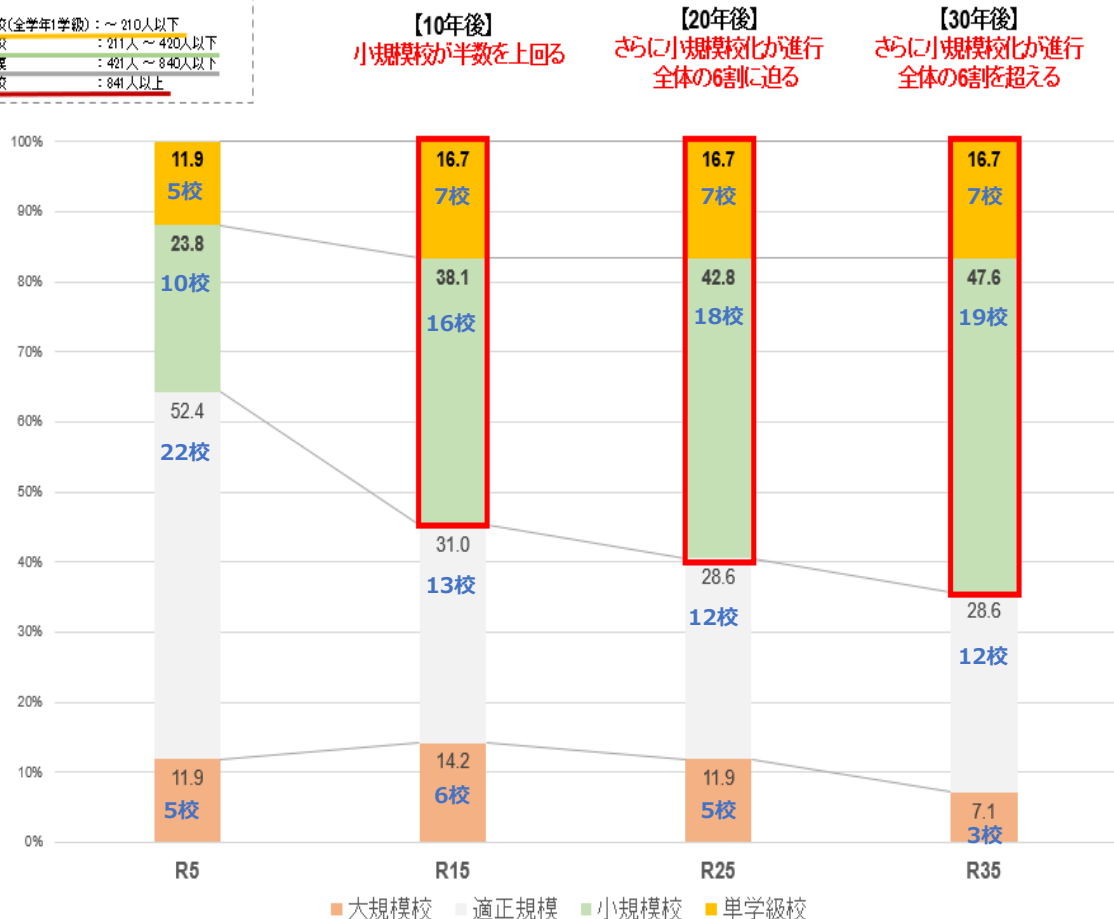
# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## イ 学校規模の現状と今後の見込み ⇒ 小学校・中学校ともに、将来にわたり小規模校化が進行

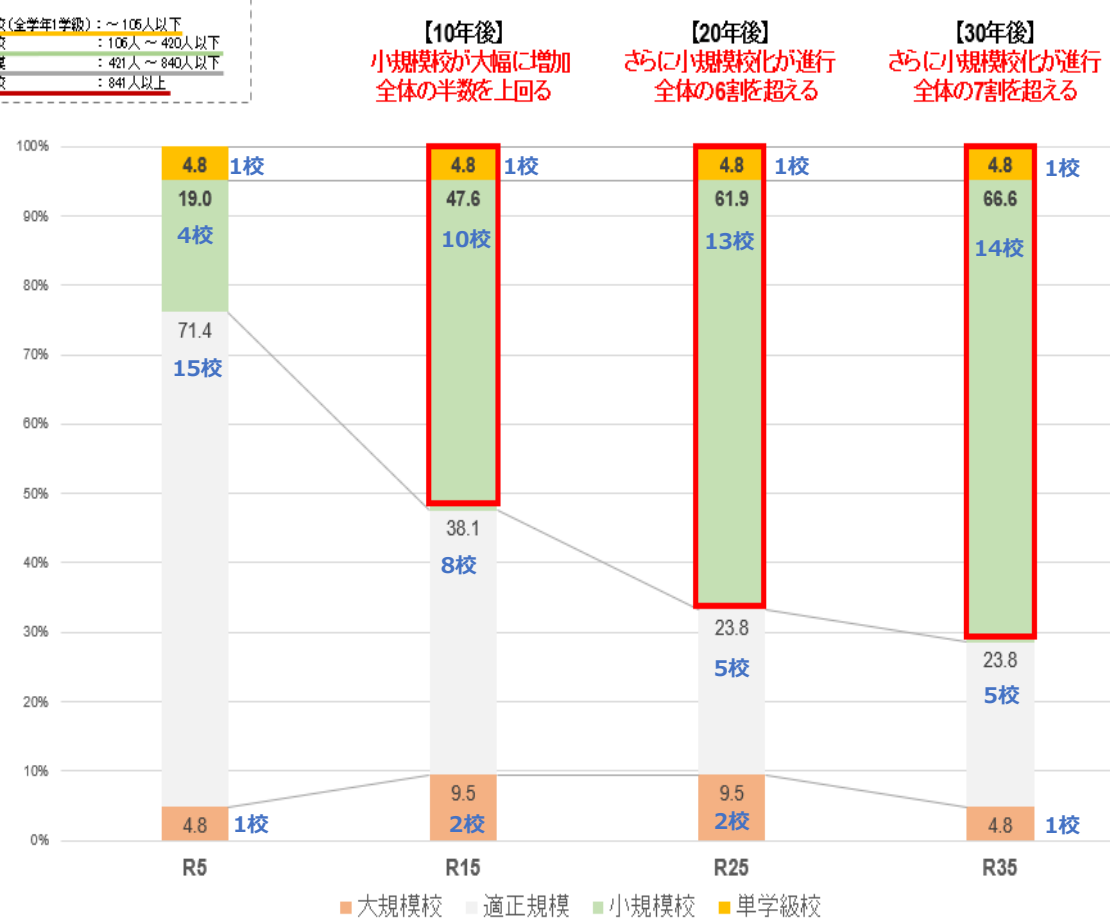
市立小学校の学校規模の予測 (R5~R35)

※ 各学校の総児童生徒数の推計に基づき色分け  
 単学級校(全学年1学級) : ~210人以下  
 小規模校 : 211人~420人以下  
 適正規模 : 421人~840人以下  
 大規模校 : 841人以上



市立中学校の学校規模の予測 (R5~R35)

※ 各学校の総児童生徒数の推計に基づき色分け  
 単学級校(全学年1学級) : ~106人以下  
 小規模校 : 106人~420人以下  
 適正規模 : 421人~840人以下  
 大規模校 : 841人以上

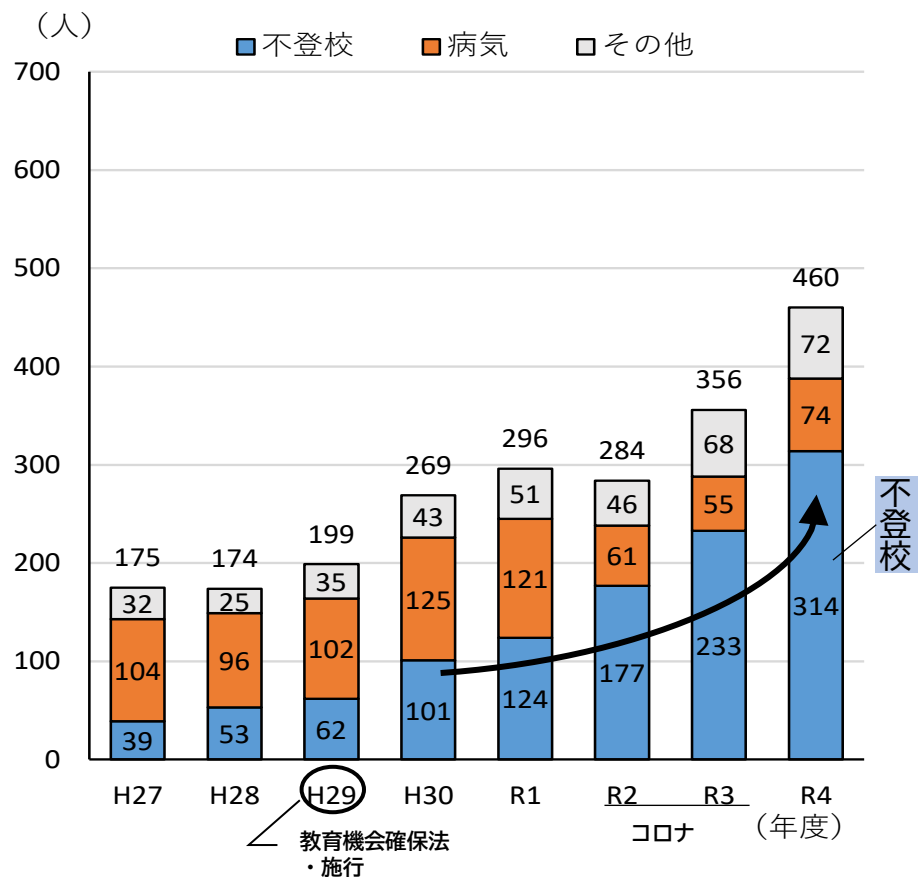


# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り

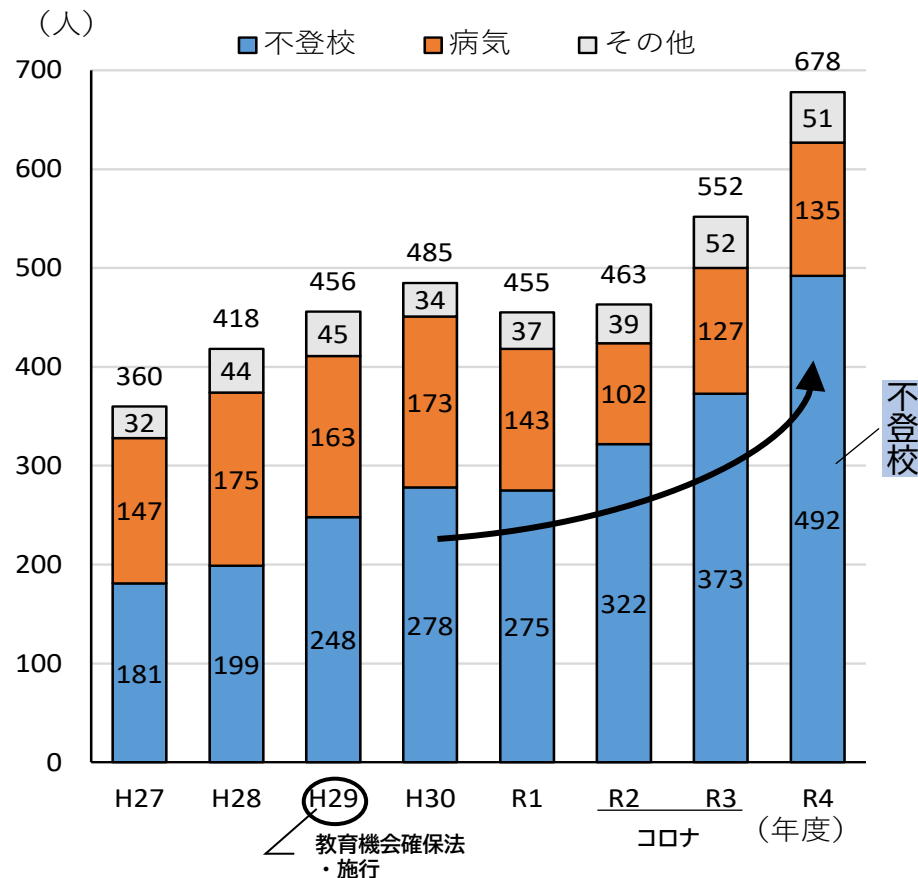


## ウ 各種教育上の課題 ① 不登校児童生徒への支援

【小学校】長期欠席（30日以上）者の推移



【中学校】長期欠席（30日以上）者の推移

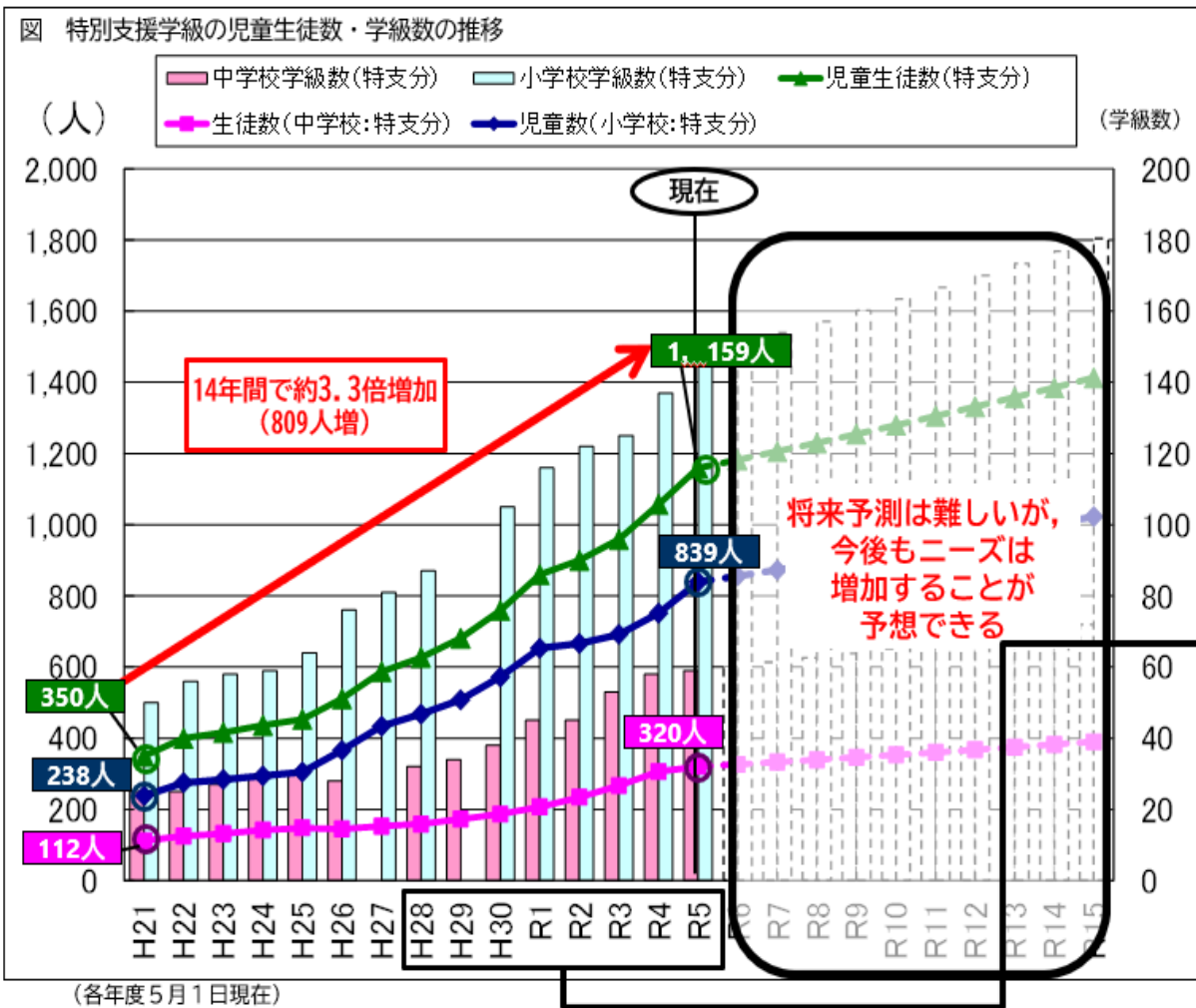


- ❖ 小中学校ともに、**不登校を理由とした長期欠席者数が増加傾向**（H27：220人 ⇒ R4：806人）
- ❖ 学年追跡の結果、**特に、小学校高学年から中学進学時に長期欠席者の増加が顕著**

# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



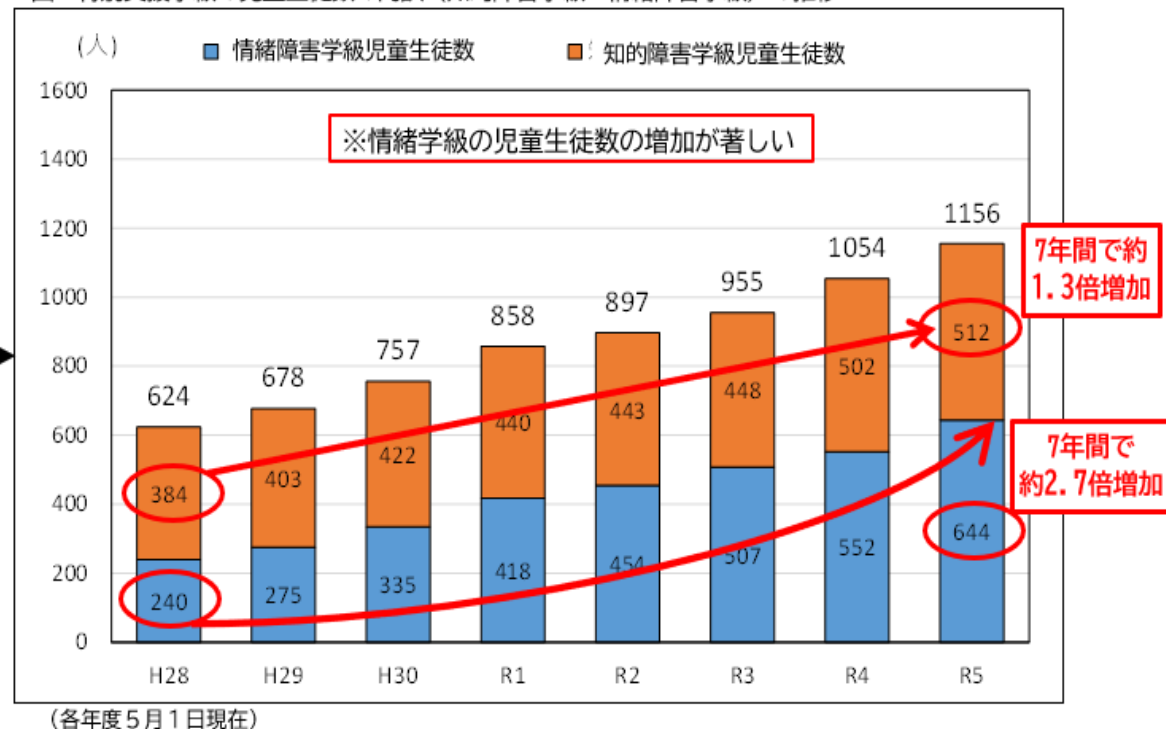
## ② 特別支援教育



### ■特別支援学級の内訳 (知的障害学級, 情緒障害学級)

- 知的障害特別支援学級在籍児童生徒数は、平成28年が384人に対し、令和5年度が512人と、7年間で約1.3倍増加している。
- 自閉症・情緒障害特別支援学級の児童生徒数は、平成28年240人に対し、令和5年度が644人と7年間で約2.7倍増加している。

図 特別支援学級の児童生徒数の内訳 (知的障害学級・情緒障害学級) の推移





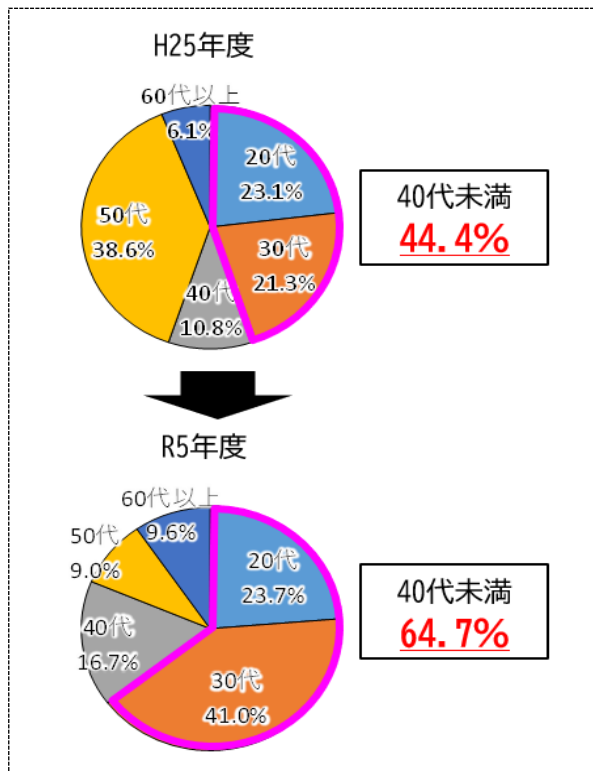
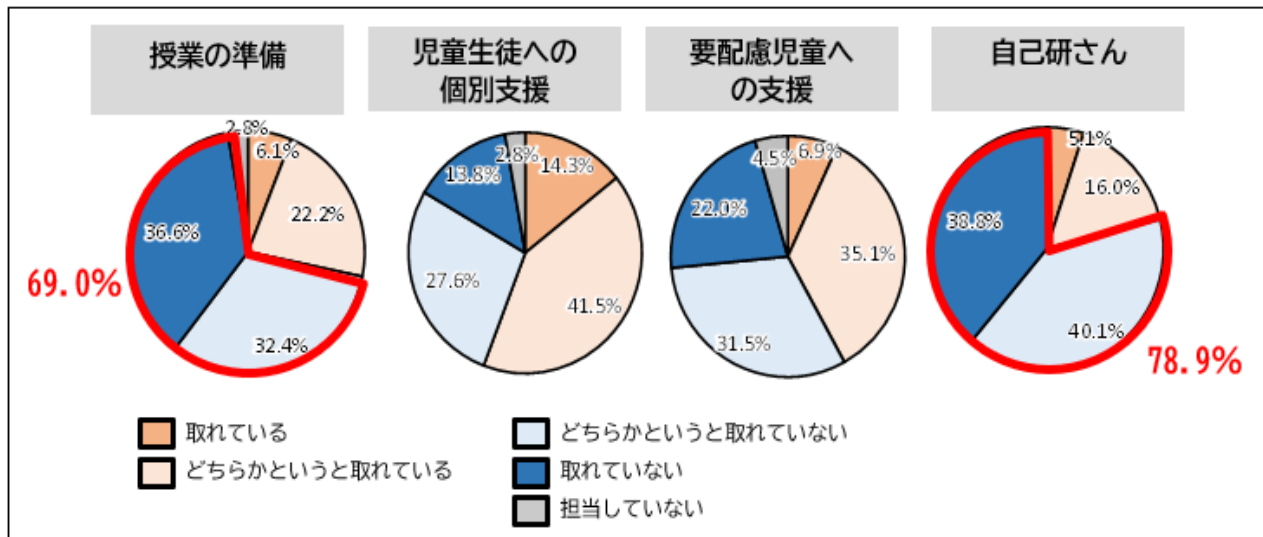
# (1) 令和5年度第1回審議会の振り返り



## ③ 教職員

表 在校等時間45時間超の割合（令和5年度と令和4年度の同月比較（6月））

対象年月	対象月	45時間超の割合（%）*管理職を除く	
		小学校教員等*	中学校教員等*
令和4年度	6月	59.0	60.1
令和5年度	6月	56.9	54.9
前年比		-2.1	-5.2



- ❖ 教職員の5割以上が月に45時間以上超過勤務
- ❖ 直近10年間で、40歳未満の教職員が大幅に増加 ⇒ 教員組織の若年化が進行
- ❖ 6割以上の教職員が「授業の準備」「自己研さん」を勤務時間内に時間が取れていない